

令和8年度 行政サービスメニュー版 目次

区分	施策名称	担当課	ページ
駒ヶ根市第5次総合計画の体系・重点プロジェクト			1
第3期駒ヶ根市総合戦略(体系概要)			3
基本目標1 ひとつづくり			
政策1 未来を担うひとつづくりを進めます			
	施策1 妊娠期から子育て期の切れ目ない支援	子ども課	5
	施策2 家庭・地域の子育て力の向上	子ども課	7
	施策3 幼児期の健全育成の推進	子ども課	9
	施策4 子どもの食育の推進	子ども課	11
	施策5 学校教育の充実	子ども課	12
	施策6 学校・家庭・地域社会との連携強化による教育力向上	子ども課・社会教育課	13
政策2 とともに学び、文化やスポーツに親しめるまちづくりを進めます			
	施策1 生涯学習の推進	社会教育課	14
	施策2 文化財の保存と活用	社会教育課	15
	施策3 文化芸術活動の推進	社会教育課	16
	施策4 市民スポーツの推進	社会教育課	17
政策3 協働のまちづくりを進めます			
	施策1 市民参画の促進と市民活動の推進	総務課・企画振興課	18
	施策2 地域コミュニティの活性化	総務課	20
政策4 人権を尊重し、互いに理解し合える地域づくりを進めます			
	施策1 人権が尊重される社会の実現	総務課・社会教育課	21
	施策2 男女共同参画社会づくりの推進	総務課	22
	施策3 国際交流と多文化共生の推進	企画振興課	23
基本目標2 健康づくり・支え合いの地域づくり			
政策1 健康長寿を推進します			
	施策1 健康づくり習慣の普及	地域保健課	24
	施策2 高齢者の保健・福祉・介護の体制整備	地域保健課・福祉課	27
政策2 安心の地域医療を確保します			
	施策1 健康保険、福祉医療制度の運営	市民課	32
	施策2 地域医療体制の充実	地域保健課	34
政策3 支え合う福祉のまちづくりを進めます			
	施策1 包括的支援体制の構築	福祉課	35
	施策2 障がい者の生活支援と社会参加の推進	福祉課	36
	施策3 生活困窮者への支援	福祉課	37
基本目標3 ひとの流れづくり			
政策1 訪れたい魅力ある観光地域づくりを進めます			
	施策1 地域資源を活かした魅力ある観光地域づくり	商工観光課	38
	施策2 高速交通網を活かした広域観光連携	商工観光課	40
政策2 移り住みたく魅力に富んだまちづくりを進めます			
	施策1 移住・定住の推進	企画振興課	42
	施策2 関係人口の創出・拡大	企画振興課	44

区分	施策名称	担当課	ページ
基本目標4 しごと・ものづくり			
政策1 地域資源と新技術を活かした農林業を振興します			
	施策1 優良農地の確保と有効活用・農村景観の保全	農林課	45
	施策2 暮らしを豊かにする魅力ある地域農業の創出	農林課	47
	施策3 新しい技術を活かしたスマート農業の推進	農林課	49
	施策4 多面的機能を発揮して暮らしを守る森林づくり	農林課	50
政策2 にぎわいと活力ある商工業を振興します			
	施策1 活力ある商業・サービス業の振興	商工観光課	52
	施策2 人が集まる「街なか」の魅力づくり	商工観光課	53
	施策3 新たな高付加価値産業の振興と企業誘致の推進	商工観光課	54
	施策4 地域を支える中小企業の経営基盤強化と人材の創出	商工観光課	55
基本目標5 安心・快適なまちづくり			
政策1 カーボンニュートラルに向けた取組を進めます			
	施策1 再生可能エネルギー等の推進	生活環境課	57
	施策2 資源循環型社会の形成	生活環境課	58
	施策3 環境保全の推進	生活環境課	59
政策2 ひとにやさしい安全・安心・快適な都市基盤整備を進めます			
	施策1 安心して暮らせる住環境の整備	都市計画課	60
	施策2 生活に密着した道路整備の推進	建設課	62
	施策3 幹線道路網の整備	建設課・都市計画課	64
	施策4 地域公共交通の確保	企画振興課・福祉課	66
	施策5 上下水道事業の持続と安全・安心	上下水道課	69
	施策6 景観に配慮したまちなみの創造	都市計画課	70
政策3 災害に強く、安全に暮らせるまちづくりを進めます			
	施策1 激甚化する災害への対策強化	危機管理課・建設課・都市計画課	71
	施策2 地域防災力の強化	危機管理課	74
	施策3 防犯・交通安全・消費生活対策の推進	危機管理課・生活環境課	76
重点プロジェクト ※再掲含む			
	1 少子化対策・子育て支援PJ	企画振興課 外	79
	2 共生社会づくりPJ	福祉課・地域保健課・子ども課	82
	3 生涯活躍のまちづくりを軸とした中心市街地(まちなか)再構築PJ	企画振興課 外	83
	4 竜東振興PJ	農林課	84
	5 地域資源を活かした観光地域づくりPJ	商工観光課・企画振興課	84
	6 カーボンニュートラル推進PJ	生活環境課 外	85
共通基盤外			
	自治体DXの推進	企画振興課	86
	健全な行財政運営 自主財源の確保(市税)	税務課	87
	健全な行財政運営 財政健全化	財政課	89
	広域連携、SDGsの推進		92

政策 1-1	未来を担うひとづくりを進めます
-----------	-----------------

【総合戦略Ⅲ-(1)-② 妊娠期から子育て期の切れ目のない支援】
 【総合戦略Ⅲ-(2)-① 子育ての負担軽減への取組】

1 妊娠期から子育て期の切れ目のない支援	R8.2 子ども課
----------------------	--------------

めざす姿	子どもを望む全ての人々が安全安心な妊娠・出産・楽しい子育てができ、子どもたちが健やかに成長発達している。
------	--

	推移 (R7見込み)						目標
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
安心して子育てできる支援が整っている	-	3.28p	-	3.22p	-	-	3.50p
この地域で今後も子育てをしていきたい人の割合	94.1	96.3	96.4	97.8	91.9	92.0	96.0
乳幼児健診の受診率	95.0	97.8	97.9	98.6	96.9	98.2	99.0

8年度の ポイント	①妊産婦の健康への支援の充実 ②乳幼児の健やかな成長発達を促す支援 ③発達特性をもつ子どもの早期発見・早期療育を推進
--------------	--

① 妊産婦期の健康支援

■ 妊婦一般健康診査支援事業

継続

【予算額 20,439千円】

妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、妊婦一般健康診査、妊婦歯科健診の補助を行います。
 ・妊婦健診受診票の発行 1人当たり14回分 127,740円

■ 遠方の産科医療機関等での妊婦健診交通費補助

新規

【予算額 67千円】

医学上の理由等により、周産期母子医療センター等で妊婦健診を受診する必要がある妊婦への健診受診に係る交通費補助を行います。交通費（往復分）の8割を助成

■ 妊婦の健康保持の支援・不安の軽減

・母子健康手帳の交付

面談を通じて妊婦の生活状況を把握しながら、健康診査受診の勧奨、体づくりのための生活習慣等保健指導を行います。支援の必要者には支援計画を作成し、医療機関等と連携を図りながら継続した支援を行います。

母子健康手帳の交付人数

(R7見込み)

年度	R3	R4	R5	R6	R7
人数	213	185	174	164	155

・両親学級3回コース

母父共に、妊娠から出産・子育てまでの母子の心身の成長の理解を深め、妊娠中の身体管理方法、不安の軽減、親となる心構えと育児の実際について伝え、円滑な育児開始を図ります。

■ 産後ケア事業

継続

【予算額 1,890千円】

医療機関や助産所に宿泊・通所または訪問にて、産後の身心のケア、育児不安等の軽減、育児手技の獲得等を図るための保健指導を受ける費用の一部を助成します。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
利用延日数	7	13	5	23	50

(R7見込み)

■ 産婦健康診査支援事業

継続

【予算額 1,600千円】

産後間もないお母さんのこころと身体の健康と産後うつ病の予防/早期発見等のため、産婦健康診査の費用の一部を助成します。 1人上限5,000円/回×2回

■ ほほえみ支援事業（不妊治療費助成金）

継続

【予算額 2,000千円】

不妊に悩む夫婦の精神的、経済的負担を軽減するため、不妊治療に要する費用の一部を助成します。
 （令和4年度から、不妊治療は保険適用、市助成額の上限を10万円から20万円に引き上げ）

年度	R3	R4	R5	R6	R7
申請件数(件)	36	23	18	13	15
助成額(千円)	2,731	2,426	1,226	1,125	1,500

(R7見込み)

② 乳幼児の健やかな発達の促し

■ 新生児聴覚検査助成（委託料・補助金）

継続

【予算額 800千円】

すべての新生児が検査を受けられるよう、新生児聴覚検査にかかる経済的負担の軽減のため、検査費用の補助を行います。1人1回上限5,000円

■ 1か月児健康診査支援事業

【予算額 967千円】

1ヶ月児健診の負担の軽減を図るため、受診券方式による公費負担を行います。

■ 乳幼児健康診査、育児相談

乳幼児期の成長発達を確認し、疾病等の早期発見、子育てに関する不安や悩みの軽減を図ります。

- ・健康診査：3ヶ月、9ヶ月、1歳6ヶ月、3歳
- ・育児相談：6ヶ月、12ヶ月、2歳3ヶ月

（法定健診）1歳6ヶ月児健診（R7見込み）

年度	R3	R4	R5	R6	R7
対象児数(人)	209	194	202	175	160
受診者数(人)	202	191	201	170	159
受診率(%)	96.7	98.5	99.5	97.1	99.2

（法定健診）3歳児健診（R7見込み）

年度	R3	R4	R5	R6	R7
対象児数(人)	227	237	195	198	192
受診者数(人)	222	228	181	187	184
受診率(%)	97.8	96.2	92.8	94.4	95.9

■ 子どもを健やかに育てる環境づくり

市保健師や助産師、市内産科医療機関または助産所の助産師が全出生児対象に新生児訪問を行います。また、助産師・栄養士等の専門職が子育て支援センターに出向き、気軽に相談できる環境づくりに努めます。

■ 未熟児養育医療給付事業

【予算額 1,300千円】

出生後、指定医療機関へ入院し、養育を行う必要のある乳児に対して、医療の給付を行います。

■ 安全な予防接種の推進

継続

【予算額 62,937千円】

疾病の発生及びまん延を予防し、子どもの健やかな成長支援を図ります。また、より安全で接種しやすい環境づくりのため、全ての予防接種を個別接種により実施します。令和8年度から、RSウイルス母子免疫ワクチンも定期接種となります。

【定期予防接種】 5種混合、2種混合、BCG、水痘、麻しん風しん、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、ロタ、HPV、3種混合、不活化ポリオ、RSウイルス母子免疫ワクチン

【任意予防接種】 インフルエンザの感染リスクを下げ、安心して受験に臨めるよう、中学3年生のお子さんのインフルエンザ予防接種費用の一部を補助します。

③ 発達特性をもつ子どもの早期発見・早期療育の推進

■ 児童発達支援事業

拡充

【予算額 52,948千円】

発達障がい等心身に何らかの障がいあるいは発達特性を有し、訓練を必要とする児童に対して、日常生活の自立及び集団生活適応力、社会力をつけるための個別、集団の療育訓練を行います。保護者とともに、より一人ひとりの個別性に合わせた療育を行うため、職員を増員します。

【児童発達支援施設つくし園 利用延人数】（R7見込み）

年度	R3	R4	R5	R6	R7
児童発達支援(乳幼児、園児)	2,259	2,512	2,196	2,242	2,300
放課後等デイ(学童)	285	382	455	495	510
保育所等訪問支援	21	65	56	60	65
タイムケア(障がい児の一時預かり)	93	10	1	6	3

2 家庭・地域の子育て力の向上 R8.2
子ども課

めざす姿

- 様々なニーズに対応した子育てが安心して行える環境が確保され、気軽に相談できる体制や地域も含めた子育て全般に渡るサービスが整っている。
- 児童虐待もなく、不登校などにもつながらない健全な家庭生活が保たれている。

	推 移						目 標	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
安心して子育てできる支援が整っている(ポイント)	3.25	-	3.28	-	3.22	-	3.40	3.50
この地域で今後も子育てをしていきたい人の割合(%)	93.6	94.1	96.3	96.4	97.8	93.2	95.0	96.0

8年度のポイント 気軽に子育て支援サービスが受けられる環境を整備し、子育て家庭の心身及び経済的な負担軽減に努めるとともに、子どもに関する相談体制を充実します。さらに、関係機関等と連携し、ヤングケアラーの把握や不登校児童生徒などに対する取組を推進します。

① 子ども交流センター・子どもクラブの運営 **継続** 【予算額 48,306千円】

○共働き家庭等の児童が、放課後の安全に利用できる居場所を提供する。

- ◆児童厚生員等の報酬、施設維持、トイレ様式化改修工事等
- ◆子ども交流センター利用状況（4館※の平日1日平均利用人数）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (見込み)
人数	127.9	144.5	136.9	148.6	146.1	165.3

※すずらん・三和森・赤穂東・みなみ子ども交流センター

- ◆子どもクラブ利用状況（2館※の平日1日平均利用人数）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (見込み)
人数	20.2	26.4	23.1	33.2	37.3	42.8

※中沢・東伊那子どもクラブ

② 子育て家庭の支援事業 **継続** 【予算額 5,487千円】

- ◆ファミリーサポートセンター事業（託児支援） 【予算額 5,487千円】
- ◆ショートステイ事業（短期宿泊預り支援） 【予算額 642千円】
- ◆ハッピーママサポート事業（家事援助支援） 【予算額 270千円】

③ いい育児の日関連イベント開催事業 **拡充** 【予算額 1,190千円】

- ◆フリーマーケットや親子で参加できる体験コーナー等
- ◆公園に飛び出そう！（こどもの公園写真募集と展示）
- ◆家庭や地域で子育てに参加できるイベント開催

④ 妊婦さん・産後ママ応援タクシー券事業 **継続** 【予算額 610千円】

○出産前後の母親が検診や買い物などで外出したい時や、緊急時に家族等の支援が得られない場合のセーフティネットとして、また、都市部から移住された女性の不安軽減を目的に、出産前後の母親が利用できるタクシー券（500円）をエリアごとの枚数で交付する。

- ◆竜西地区：24枚 ・ 竜東地区1：48枚 ・ 竜東地区2：72枚

◆実績（R7は12月末現在）

	R5	R6	R7
交付者数	96 人	66 人	38 人
実利用者数	182		

⑤ 赤ちゃん育児ライフ応援事業 **継続** 【予算額 7,500千円】

○乳児の育児をする世帯に商品券を発行し、利用できる店舗・商品の情報や店舗等の子育て応援情報を発信して育児生活を応援する。子育て中の世帯が商店街を利用することで、商店街の子育てを応援する機運の醸成に繋げる。

- ◆新生児1人当り50,000円分の『つれてってプリペイドカード』を発行。

◆実績（R7は12月末現在）

	R4	R5	R6	R7
交付件数	210 件	177 件	169 件	109 件

⑥ 地域子どもの未来応援事業

継続 【予算額 3,600千円】

○子どもの健やかな成長を支援することを目的として、子どもに対する学習支援、生活支援・相談など子どもに関する課題解決のための事業を実施する団体に対して補助を行うことで、市民団体の子育て支援活動を増進し、子どもの成長と子育てを市民全体で応援する機運の醸成を図る。

◆実績（R7は12月末現在までの交付決定額）

	R5	R6	R7
申請団体数	3 団体	4 団体	3 団体
申請金額	3,123千円	3,394千円	3,974千円

⑦ 妊婦のための支援給付事業

継続 【予算額 15,060千円】

○安心して出産・子育てに望めるよう、伴走型相談支援に合わせ、国の妊婦のための支援給付金のを交付する。

- ◆1回目：妊娠届出時面談後 交付額50,000円（口座振替による）
- ◆2回目：全戸訪問面談後 交付額50,000円（口座振替による）

◆出産・子育て応援交付金実績

出産・子育て応援交付金	R5	R6	R7
出産応援交付金	307 件	175 件	17 件
子育て応援交付金	205 件	167 件	33 件

◆妊婦のための支援給付金（R7は12月末現在までの交付決定額）

	R7
1回目給付	94 件
2回目給付	84 件

⑧ 子どもに対する相談・支援体制の充実

拡充

◆家庭児童相談員による相談業務

【予算額 10,698千円】

【家庭児童相談対応延べ件数】

内容	年度				
	R2	R3	R4	R5	R6
養護	639	501	404	767	648
育成	161	116	37	75	64
その他	59	31	56	179	193
合計	859	648	497	1,021	905

- 性格や行動、心身の発達・障がい、家庭環境、虐待などの子どもに関する相談を受け付けます。
必要な場合は、児童相談所等関係機関へつなぎま

◆教育相談員による相談業務

【予算額 7,316千円】

【教育相談対応延べ件数】

内容	年度				
	R2	R3	R4	R5	R6
不登校	150	103	85	51	82
発達障害	95	98	85	39	65
就学指導	177	205	210	231	269
その他	104	150	122	179	149
合計	526	556	502	500	565

- 不登校やいじめ、就園・就学・学びの場に関する

⑨ 発達障がい児に対する相談業務・療育支援

継続

◆公認心理師による相談業務等

【予算額 9,924千円】

【カウンセリング等延べ件数】

内容	年度				
	R2	R3	R4	R5	R6
巡回相談	167	168	180	138	157
健診相談	12	30	14	25	27
その他	187	206	150	157	129
合計	366	404	344	320	313

- 公認心理師による保育園・幼稚園の巡回相談や個別相談・発達検査などを実施することで、療育を



- 児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号。
- 「189」にかけるとお近くの児童相談所につながります。
- 通告・相談は匿名で行うこともでき、通告・相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。

3 幼児期の健全育成の推進

R8.2
子ども課

めざす姿

- 子どもたちが体を使った遊びを行い、年齢にふさわしい体力・運動能力を身につけている。
- 地域の特性を生かした保育がなされ、子どもたちが自然に親しみ、想像力や豊かな感性を身につけている。

8年度のポイント

- ① 子どもの体力向上を推進します。
- ② 地域に根ざした特色ある取組を進めます。

① 子どもの体力向上の推進

継続

○ 保育園・幼稚園における運動遊びの推進

子どもたちの体力や運動能力を高めるため、日常の保育の中に運動あそびを取り入れるとともに、親子で体を動かすことを楽しむ機会を提供し、保育の質の向上を目指します。

○ 幼児運動能力評価

引き続き、幼児運動能力評価を実施し、駒ヶ根市の子どもたちの運動能力の現状を把握することで、運動能力向上に向けた保育の取組に生かします。

② 地域に根ざした特色ある取組

継続

公立・私立保育園幼稚園の入所状況と今後の予想(各年4月1日現在・R08は予定)

(単位：人)

	R04	R05	R06	R07	R08
公立保育園(8園)	618	573	523	504	532
公立幼稚園(2園)	53	64	51	40	
私立保育園(2園)	169	163	161	150	156
私立幼稚園(1園)	56	51	42	32	42
私立小規模保育施設(1園)			12	12	15
合計	896	851	789	738	745

○ 未満児保育料の軽減

継続

- ・市町村民税所得割額が57,700円未満の世帯は、第1子は半額、第2子以降を無償化します。
- ・市町村民税所得割額が57,700円以上の世帯は、第2子は半額、第3子以降を無償化します。

○ 幼児教育無償化の実施

継続

- ・3歳以上児および3歳未満児のうち住民税非課税世帯の子どもについて保育料を無償化します。
- ・3歳以上児の副食費について市で1,900円負担するとともに、市町村民税所得割額が57,700円未満の世帯、または第3子以降の副食費を無償化します。

○ 公立保育園の運営

拡充 【予算額 421,407千円】

- ・保育士の確保対策・環境改善 【うち予算額 14,237千円】
派遣保育士等の活用 1名
長野県保育士移住支援事業の活用 県1/2
保育補助員の配置 加配補助4名、延長保育補助2名

- ・保育ICTシステム導入

新規 【うち予算額 29,913千円】

○ 保育・幼児教育ビジョンに基づく施設整備

拡充 【予算額 387,166千円】

- ・新園舎設計業務
- ・新園舎建設工事及び工事監理
- ・赤穂南幼稚園解体工事

- 私立保育所・幼稚園運営費 **継続**【予算額343,477千円】
 - ・ 公定価格に基づく給付費等 国1/2 県1/4

- 私立保育所・幼稚園特別保育事業補助金 **拡充**【予算額31,496千円】

- ・ 各園の特別保育 (単位：千円)

	福岡保育園	桜ヶ丘保育園	聖マルチン幼稚園	J's 保育園駒ヶ根	備考
延長保育事業	4,000	4,000	-	2,000	国県補助2/3
一時保育促進事業	1,200	-	11,340	-	国県補助2/3
乳児保育	510	510	-	-	県補助1/2
加配支援事業	-	-	-	4,944	県補助1/2
その他特別保育事業	484	308	-	-	
合計	6,194	4,818	11,340	6,944	

- ・ 保育ICTシステム導入補助 国1/2 県1/4 **新規**【うち予算額2,200千円】

- 未就園児童の子育て支援等 **継続**【予算額59,627千円】

- ・ 利用者数の推移 (R06は見込み 年間延利用者数：子供の人数)

年度	R02	R03	R04	R05	R06	R07
きつずらんど*	1,334	1,351	2,002	3,327	3,723	3,030
まあるくなあれ♪	3,488	3,450	2,433	4,139	4,238	4,235
一時預かり事業	805	540	591	814	990	852

- ・ きつずらんど、まあるくなあれ♪事業
駅前アルパ「きつずらんど」、経塚支援センター「まあるくなあれ♪」を設置し未就園児親子の交流支援を図ります。
きつずらんどの土曜日開館を継続します。
- ・ 地域子育て拠点支援事業・乳幼児一時預かり事業
市内医療機関と連携し、未就園児親子の交流支援や、8カ月未満の乳幼児の一時預かりを実施します。
- ・ 世代間交流事業(おじいちゃん先生)
- ・ 病児・病後児保育事業
児童が病気の治療中又は病気の回復期にあり、集団保育等が困難で、かつ保護者の就労等により家庭での保育が困難な際に、市内、飯島町、中川村の医療機関等併設の病児保育室において児童を一時的に預かり、子育てと就労の両立の支援を図ります。
- ・ 幼児教育アドバイザー配置
「保育・幼児教育ビジョン」を推進するため、幼児教育アドバイザーを配置し、「内から育つひたむきな子」育成に努めます。
- ・ こども誰でも通園制度(乳児等通園支援事業) **新規**【予算額3,915千円】
経塚保育園に併設する子育て支援センターで実施します。

4 子どもの食育の推進

めざす姿

●様々な経験を通じて、食への関心を高め、地域に根差した食に関する知識や健全な成長に必要な食品を選択する力を身につけ、豊かな心を育み、健全な食生活を実践している。

8年度の ポイント

- ① 子ども達が体験しながら楽しく学ぶ食育を推進します。
- ② 家庭での食育を推進します。
- ③ 「お弁当の日」を推進します。

① 体験しながら学ぶ食育の推進 継続

○園児への体験機会の提供

・園での野菜作り、収穫した野菜の調理体験、給食での行事食や郷土食の提供、親子クッキングなど、体験を通じた園児たちの食への関心を高める取り組みを進めます。



○家庭と共にする食育

園児が望ましい食生活習慣や生活リズム、マナーなどを身につけるために、園の給食や給食だより、食育応援団や親子クッキング等で、共食や朝食の大切さなどの啓発を行います。



② 学校食育の推進 継続

【予算額40千円】

- 「お弁当の日」のお弁当作り
- 食育授業・講演会

③ 実態調査

- 食育アンケート（3年に1回実施（次回令和9年度実施））

5 学校教育の充実 R8.2
子ども課

めざす姿 確かな学力や体力、豊かな人間性を持ち、自立して生きていける力を身につけ、地域づくりを担っていける子どもたちが育っている。

指標名	推移						目標	
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	→	R8
標準学力調査の目標値を上回った教科数、全国学力・学習状況調査の全国平均を上回った教科数の割合	未実施	59.1%	52.2%	18.2%	31.8%	20.8%	→	80.0%

- 8年度のポイント**
- ① ICT教育の充実とネットワーク環境の整備
 - ② 学力向上プログラム・中学生海外派遣による国際人の育成
 - ③ 学校作業療法士配置・水泳授業の民間活用モデル事業
 - ④ 学校給食費の保護者負担軽減

- ① **ICT教育の充実** **継続** 【予算額 90,029千円】
 - 一人一台端末(Chromebook、iPad:2,949台)、学習用ドリルアプリ、大型提示装置等の活用
 - 教員の指導力強化とICTリテラシーの向上(ICT支援員配置・ICT研修の実施)
 - ICT教育運用・保守等委託(障害対応、修繕、セキュリティ対策、保守等)
- ② **教科指導の強化** **継続** 【予算額 30,459千円】
 - 学力向上対策指導主事(子ども課:1名)、専科教員((中学校:5名)国語・英語・理科等の個別教科の充実)、ALTの配置((4名)小学校外国語活動・中学校英語教育の支援充実)
- ③ **不登校児童・生徒の居場所づくり** **継続** 【予算額 22,622千円】
 - 不登校対策指導主事(子ども課:1名)、子どもと親の相談員(小学校:2名)、生徒相談員(中学校:3名)、中間教室適応指導員の配置(子ども課:2名)
- ④ **学習習慣形成** **継続** 【予算額 64,920千円】
 - 特別支援教育支援員(小学校:20名、中学校:3名)、看護師の配置(小学校:2名)
- ⑤ **標準学力調査・集団適応調査** **継続** 【予算額 3,460千円】
 - 標準学力調査
 - ▶ 全国学力・学習状況調査と併せ小学校3年から中学校3年まで実施(小学校:国語・算数、中学1、2年生:国語・数学・理科・社会・英語、中学3年生:理科・社)
 - ▶ 児童・生徒の成長の把握とつまずきの発見・克服、指導法の検討と授業改善
 - 心理検査(QU調査、非認知能力)
 - ▶ 小中学校全学年実施、学級集団の状態や、子ども一人一人の意欲・満足度などを測定
 - ▶ 学級経営の改善により、いじめ・不登校の防止と学力向上につなげる
- ⑥ **特色ある学校づくり** **継続** 【予算額 2,850千円】
 - 各学校の教育目標の達成に向けた校長裁量予算
 - ▶ 学力向上や指導力向上、地域に開かれた学校づくりなど、総合的な学習の時間を中核とした特色ある学校運営を校長のリーダーシップにより推進
 - ▶ コミュニティ・スクールの導入促進、活動充実など
- ⑦ **中学生海外派遣国際交流事業** **継続** 【予算額 4,872千円】
 - ネパールポカラ市への中学生派遣交流
- ⑧ **通学カバン贈呈** **継続** 【予算額 3,309千円】
 - 新小学1年生の希望者に通学カバンを贈呈
- ⑨ **学校作業療法士配置モデル事業** **新規** 【予算額 1,444千円】
 - 市内小中学校へ作業療法士を配置
- ⑩ **水泳授業の民間活用モデル事業** **新規** 【予算額 7,392千円】
 - 市内小中学校の水泳授業をスイミングスクールへ民間委託
- ⑪ **小学校給食費の抜本的な負担軽減事業** **新規** 【予算額81,282千円】
 - 小学校給食費への負担軽減
- ⑫ **学校給食物価高騰対策事業** **拡充** 【予算額33,190千円】
 - 学校給食食材値上がり分の補助

6 学校・家庭・地域社会との連携強化による教育力向上

R8.2
子ども課
社会教育課

めざす姿 未来を担う子ども・若者たちが、学校や家庭をはじめ地域社会全体の支援を受けながら、豊かな人間性や社会性を身につけて成長している。

指標名	推移					目標	
	H29	R1	R3	R5	R7	→	R8
家庭・学校・地域が協力して子育てをしている。	3.47p	3.47p	3.55p	3.39p	3.47p	→	3.65p
青少年が心身ともに健康に育つ環境にある。	3.37p	3.35p	3.43p	3.35p	3.48p	→	3.49p

8年度の
ポイント

- ① 学校支援ボランティアの充実
- ② キャリア教育の推進
- ③ コミュニティ・スクールの推進(地域とともにある学校づくり)

① 学校支援ボランティア

継続

【予算額 981千円】

- 放課後学習支援
- 授業支援
- 外国語活動支援
- クラブ活動支援
- 本の読み聞かせ支援

② キャリア教育の推進

継続

【予算額 100千円】

- 産学官の連携強化(キャリア教育推進協議会)
- 職場体験学習
- JICAの学校交流事業
- 郷土愛プロジェクト・キャリア教育かみい交流会

③ コミュニティ・スクールの推進

継続

【予算額1,400千円】

- 市内全小中学校

8年度の
ポイント

青少年育成委員とともに、より良い環境づくりを進めます。

① 青少年健全育成事業

継続

【予算額 1,297千円】

- 地区子ども会活動推進事業補助
 - ・ 市内16区にある子ども会の活動を支援する。
 - ・ 地区子ども会活動の交流
- ジュニアリーダー研修
 - ・ ジュニアリーダー・シニアリーダー 約35名
 - ・ 各種研修を実施
 - ・ VYS会に指導を依頼
- 二十歳を祝う会の開催
 - ・ 8月15日開催
 - 対象者数 約300名



ジュニアリーダー研修会

② 青少年育成センター事業

継続

【予算額 659千円】

- 青少年育成委員の活動を支援
 - 各区から選出される青少年育成委員34名による青少年育成活動及び補導活動を支援する。
 - ・ 青少年育成委員活動
研修会、交流会への参加、子ども会活動の運営
 - ・ 青少年の補導活動
巡回指導、街頭指導の実施、
青少年健全育成協力店推進活動



令和7年度 二十歳を祝う会

1 生涯学習の推進

R8.2
社会教育課

めざす姿

- 誰もが生涯にわたって自由に学ぶことができ、その成果が地域づくりに活かされている。
- 生涯学習施設が、学び・実践・交流していく場所として活用され、望ましい学習態様が構築されている。

	推移							目標
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
生涯学習に取り組みやすい（満足度調査）	3.04p	—	3.16p	—	3.07p	—	3.18p	3.27p
図書館や公民館などの利用環境が整っている（満足度調査）	3.58p	—	3.71p	—	3.65p	—	3.81p	3.84p

8年度の ポイント

- ① 多様なニーズや新たな生活様式、ライフスタイルに対応できる学習情報や機会の提供方法を検討し、実践していきます。
- ② 生涯学習活動を支援します。

① 社会教育総務管理事業 **継続** 【予算額 3,669千円】

- 学習情報の提供（「生涯学習メニュー版」発行など）
- 人権教育の推進
- 社会教育委員会活動

② 公民館管理運営事業 **継続** 【予算額 42,149千円】

- 3公民館共同事業の実施
ふるさと講座等の開催、公民館報の発行
- 各公民館の管理運営
公民館運営審議会の開催
学級・講座の企画運営による学習活動
分館の活動促進（分館長・主事会の開催）



平和講座

③ ふるさとの丘管理運営事業 **継続** 【予算額 10,905千円】

- 指定管理による維持管理
竹花工業(株)駒ヶ根支店に指定管理を委託し、施設の維持管理を行う。

④ 十二天の森整備運営事業 **継続** 【予算額 3,301千円】

- 生涯学習の場、保育園・幼稚園の自然体験の場として活用する。
整備活用検討委員会の開催
活用イベント等の開催
遊歩道、支障木等の整備
パンフレット作成
森の活用拡充



Live in 十二天の森

⑤ 市民農園整備運営事業 **継続** 【予算額 114千円】

- 市民農園の貸出
市民農園 北割23区画、南割16区画、計39区画の貸出し

2 文化財の保存と活用 R8.2 社会教育課

めざす姿 変わらないものの価値を後世に引き継ぐため、貴重な文化財の調査研究が進められ、有効利用しながら保全に努めている。

	推移								目標
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
文化財の指定件数	48件	48件	48件	50件	50件	50件	50件	50件	50件

8年度のポイント ① 文化財の保存を図る
② 文化財の有効活用を図る

① 旧竹村家管理運営事業 **継続・新規** 【予算額 31,296千円】

●指定管理による維持管理

●旧竹村家住宅保存修理工事

- ・令和7年度基本設計に基づく実施設計、工事（令和7.8年継続費）



② 文化財保存事業 **継続** 【予算額 7,221千円】

●文化財の指定、保存及び活用

- ・文化財審議会の開催

●指定文化財の保存管理

- ・市所有文化財の保存管理（旧木下家住宅、民俗資料館、赤須城跡、芭蕉の松 等）
- ・ハッチョウトンボ生息地環境整備、観察会（ハッチョウトンボを育む会より引継）
- ・文化財保存管理等のための人材（学芸員）配置
- ・県宝小町谷家住宅修理工事補助金（県補助の随伴補助）

名勝光前寺庭園整備活用事業

- ・名勝光前寺庭園整備活用委員会の開催

③ 埋蔵文化財発掘事業 **継続** 【予算額 150千円】

埋蔵文化財発掘調査委託

- ・埋蔵文化財包蔵地において緊急的に発掘調査が必要となった場合に実施するその後、事業主より調査費を補填させる
- ・埋蔵文化財包蔵地にかかる保存・保護活動

3 文化芸術活動の推進R8.2
社会教育課**めざす姿** 多くの市民が多様な文化芸術に触れる機会を持ち、自らも文化・芸術活動に参加をしている。

	推移 (R7の利用者数は見込み)							目標
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
文化芸術に親しみやすい(満足度調査)	2.97p	-	2.99p	-	3.00p	-	3.10P	3.27p
文化センター利用者数	134千人	69千人	72千人	99千人	111千人	110千人	90千人	170千人

8年度のポイント ① 優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供します。
② 文化施設の整備を進めます。**① 総合文化センター等の運営****継続・新規** 【予算額 253,281千円】

●文化センター管理運営事業 (223,227千円)

- ・駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、各種事業の実施及び施設の維持管理を行う
- ・市民に芸術鑑賞を提供する自主事業の開催 (40周年記念公演の開催)
- ・伝統芸術文化の継承と保存、文化団体・鑑賞団体の育成と支援
- ・駒ヶ根市文化財団職員の人件費補助

●文化センター改修事業 (5,000千円)

- ・改修基本計画に基づいたLED化、内部タイル改修の実施設計
- ・北側駐車場改修整備調査

●図書館管理運営事業 (16,837千円)

- ・駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、図書館運営を実施
- ・図書、諸資料の購入による蔵書資料の充実を図ることで、子育て応援にも繋げる。
- ・子ども読書活動推進計画によるブックスタート、セカンドブックに加え、小学校1年生対象のサードブックの配布を継続します。
- ・絵本巡回事業の実施、おはなし会及びお楽しみ会等各種催し物の開催
- ・協働電子図書館事業への参画

●博物館管理運営事業 (5,868千円)

- ・駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、博物館運営を実施
- ・第25回「駒展」及び第11回ジュニア駒展の開催
- ・各種企画展示の開催
- ・資料の収集整理、博物館報の発行
- ・県宝指定「小町谷家住宅」の資料の整理・保存
- ・郷土館展示整理
- ・登戸研究所平和資料館展示ガイドの手当
- ・収蔵庫収蔵品の落下防止対策

●天竜かっぱ広場管理運営事業 (2,349千円)

- ・駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、天竜かっぱ広場運営を実施
- ・ふれあい講座、出前講座等の開催
- ・館収蔵資料・作品による企画展示や特別展の開催
- ・竜東地域活性化への協力

② 文化芸術振興事業**継続** 【予算額 7,150千円】

●エル・システマ事業(音楽を通じて生きる力を育む事業)

- ・市内小学生を対象に、エル・システマのプログラムを活用した弦楽器教室等を開催
- ・市内小学校で弦楽器、和楽器、雅楽の「鑑賞教室」の実施

●駒ヶ根子ども音楽祭の開催

- ・子どもたちの文化芸術団体の発表の場として開催する。

●文化芸術振興

- ・文化芸術推進委員会開催

4 市民スポーツの推進

R8.2
社会教育課

めざす姿

ニュースポーツ、アスリートスポーツ問わず、すべての市民が求めるニーズに合わせ、それぞれの世代で楽しくスポーツに親しんでいる。

※H24, R4はスポーツ推進計画策定年度 ※H29は第1次計画の中間年度	推 移							目 標	
	H24	H29	R3	R4	R5	R6	R7	R9	R10
スポーツ少年団の小学生の加入割合	23.4%	30.2%	26.7%	25.3%	25.5%	27.4%	25.2%	30.0%	30.0%
週1回以上スポーツを実施する市民の割合	32.0%	31.0%	-	30.7%	-	-	-	65.0%	65.0%

8年度の ポイント

- ① 生涯スポーツ活動の推進と、環境整備を進めます。
- ② スポーツを通じて地域コミュニティの形成を目指します。
- ③ 国民スポーツ大会に向け、施設整備や競技者増加に向けた取組みを進めます。

① 市民スポーツの推進

- スポーツイベント、スポーツ大会、スポーツ教室等を開催し、市民のスポーツ活動機会の提供、地域の交流、活性化に取り組みます。

- ・ 市民スポーツ大会（旧市民総体）の開催
- ・ 市民スポーツ教室の実施
- ・ 信州駒ヶ根ハーフマラソン大会再開に向けた調査等

- トップアスリートとの交流や大学等との連携により、スポーツの魅力、楽しさに触れる機会、体力の向上等に取り組みます。

- ・ かけっこ教室の開催
- ・ 日本体育大学等連携事業
- ・ 幼児運動能力評価事業

- スポーツ関係者やスポーツ団体等への支援により、市民のスポーツ活動の推進に取り組みます。

- ・ スポーツ協会、スポーツ少年団への支援
- ・ 中学校部活動の地域展開（認定地域クラブ活動）への支援
- ・ 各種大会出場者等への支援（全国大会、市町村対抗駅伝等）

継続

【予算額 3,874千円】



継続

【予算額 1,837千円】



拡充

【予算額 6,780千円】



② 体育施設整備運営事業

- 個別施設計画を踏まえ、計画的に更新、整備を図ります。

- ・ 丸塚公園運動場改修実施設計（照明設備LED化等）

- 指定管理による体育施設の維持管理を行い、施設・設備・器具など利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努めます。

継続・新規

【予算額 60,290千円】



③ 国民スポーツ大会運営・施設整備事業

- 国民スポーツ大会に向けた施設整備を行います。

- ・ 馬住ヶ原運動場整備人工芝新設等工事

- 国スポに向けた大会実行委員会の運営

- ・ 大会実行委員会の総会、常任委員会、専門委員会の開催
- ・ 日本ホッケー協会アンバサダーによるホッケー教室
- ・ ホッケータウン推進事業（自治体連携事業、地元チームのPR活動等）

継続・新規

【予算額 613,418千円】



1 市民参画の促進と市民活動の推進

R8.2 総務課
企画振興課

めざす姿

地域課題の解決に向けて、地域や市民団体など多様な主体が活発に活動し、それぞれの主体が互いの特性を尊重し合い、行政とも対等な立場で連携しながら取り組んでいる。

区 分	推移							目標	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	→	R8
市民参画の機会の充実(市民満足度)	2.55	—	2.74	—	2.74	—	2.96	→	2.94
まちづくり活動が活発である。(市民満足度)	2.71	—	2.75	—	2.80	—	2.90	→	2.95

8年度の
ポイント

- ・効果的な情報発信
- ・市民活動支援センターぱとなどJOCAとの連携

① 市民参画の推進

継続

【予算額 ー 千円】

各種施策、計画の策定や事業評価などに多様な手法を用いて、市民が参画できる機会の充実と環境整備を図ります。

○市民満足度調査(隔年実施)

(令和8年度実施なし 次回令和9年度)

平成21年度から隔年で実施しており、令和7年度に9回目を実施しました。調査結果は重要な指標として今後の市政運営に反映します。

○パブリックコメント制度

市の基本的な政策案や計画の策定にあたり、事前に内容を公表して市民の皆さんからご意見・提案を募集し、これらを考慮して政策の意思決定を行うとともに、提出された意見等とそれに対する市の考え方を公表します。

区 分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (見込)
パブリックコメント実施件数	5	4	5	2	6	4	1	3	5	3

② 情報発信(情報の共有)

拡充

【予算額 35,433千円】

○広報事務 重点施策やささまざまな情報を広く提供

- ・市報
年12回発行(全戸・全事業所にポスティング)
- ・行政チャンネル(CATV)
行政番組(52週)、文字放送などの放映
- ・ホームページ(R元年度リニューアル)
市ウェブサイトにより、市の情報をよりわかりやすく掲載し提供
- ・LINEによる情報提供(R3.8~) R8.1月末現在登録者数 10,494人
- ・スマートフォン等へのメール配信(R4システム更新)

年 度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (1月末)
メール配信サービス登録者数(人)	2,091	4,115	4,618	5,480	6,321	7,492	8,129	8,427	8,163	8,109

・行政情報等の定例文書配布

毎月実施(市報に掲載できない情報等を、区、自治組合を通して配布)

○広聴事務 市民の声を直接市政に反映

・市長への手紙

年 度		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (1月末)
市長への手紙の受付 数と件数	通数	59	64	63	45	72	56	72	59	60	52
	件数	93	94	90	79	123	87	105	96	104	78

・各区開催の市政懇談会での懇談

○シティプロモーション 地域の魅力や市の取り組みを発信

・ラッピングバスの継続運行（中央高速バス：駒ヶ根－新宿）

移動する広告媒体として、市の魅力を発信。

・地域おこし協力隊の配置

市の魅力を戦略的に、継続的に発信していく。SNS、ブランディングなど、より専門性が必要な領域を強化。

③ 職員地区担当制の充実・強化

継続

地域の課題解決に向け、地域の皆さんと地区担当職員が一丸となって、地区防災体制強化、地区まちづくりなどの取り組みを進めます。

④ 多様なまちづくり主体の育成

継続

【予算額 12,970 千円】

・地域の課題解決の受け皿となる市民活動団体などの核となる人材の発掘や育成に取り組みます。

○市民活動支援センターばとなの運営（市民活動サポート事業）

開設：平成21年10月～（公設民営） 運営団体：市民活動支援協会

市民活動支援センター「ばとな」は、様々な公益的な市民活動の支援を目的に、公設民営で運営。登録団体の拡大や情報収集・発信の充実、市民活動・地域活動活性化事業の充実などを行っています。平成30年7月にはJOCA本部の移転に伴いリニューアルし、令和6年には開設15周年を迎えました。また、駒ヶ根市版「生涯活躍のまち」構想においては、学びと交流の拠点としての役割も位置付けられています。

区 分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (1月現在)
市民活動支援センター登録団体数	72	71	77	84	101	106	119	115	119	124

区 分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (12月末)
市民活動支援センター来館者数	9,270	11,623	10,889	9,718	6,486	9,393	11,443	14,171	15,053	12,521

⑤ 市民活動団体への支援

拡充

【予算額 1,500 千円】

○協働のまちづくり支援事業（まち普請支援事業）

・公共空間整備、地域課題解決、公共サービス提供等に資する事業への補助金又は原材料の提供

補助対象事業	補助率等	原材料提供のみ
市民活動支援補助	補助率 10/10 (50万円限度)	40万円限度
市民団体設立支援補助	補助率 10/10 (10万円限度)	—

【実績】

(単位：千円)

補助対象事業	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (1月現在)	
市民活動支援補助	件数	8	7	6	4	3	1	2	4	3	2
	金額	1,708	1,526	1,091	815	658	177	667	1,319	1,106	289
市民団体設立支援補助	件数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	金額	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 地域コミュニティの活性化

R8.2
総務課

めざす姿

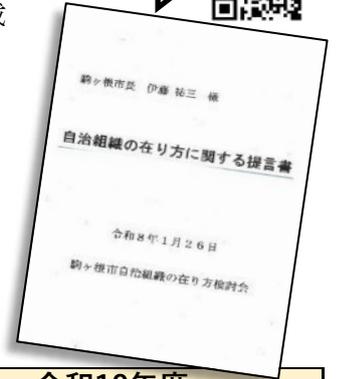
自治組織に地域住民全員が加入し、協働による地域づくりが活発に行われている。

自治組織の在り方に関する提言書R8.1.26提出

総合計画の達成目標	現状値			目標		
	R3_'21	R6_'24	R7_'25	R8_'26		
自治会加入率 (%) ※文書配布世帯数/住民登録世帯数(住民登録数から同一住所世帯を減ず)	75.7%	72.0%	72.5%	80.0%		
市民満足度調査	満足度			重要度		
	R3	R5	R7	R3	R5	R7
隣近所の付き合いがある	3.69	3.60	3.62	4.00	3.92	3.86
自治会の活動や行事が盛んである	3.48	3.40	3.46	3.46	3.36	3.32
自治組織など地域コミュニティの育成のための支援が充実している	3.21	3.05	3.03	3.90	3.81	3.86



自治組織の在り方検会
経過、提言書
：市HPに掲載



① 自治会支援事業

新規

【予算額 300千円、309千円、275千円】

約2年にわたる検討を経て取りまとめられた「自治組織の在り方に関する提言」を踏まえ、自治会支援については、検討から実践の段階へと移行します。
令和8年度は、「まず試す」実証的な取組として、モデル事業等を通じて自治会が抱える課題の整理や対話を支援するとともに、将来にわたり活動を続けられるよう、挑戦を後押しする支援と、運営上の負担を軽減する支援を組み合わせた事業を実施します。

令和7年度	令和8年度						令和9年度						令和10年度						
12-1月	2-3月	4-5月	6-7月	8-9月	10-11月	12-1月	2-3月	4-5月	6-7月	8-9月	10-11月	12-1月	2-3月	4-5月	6-7月	8-9月	10-11月	12-1月	2-3月
①自治会 フォーラム8/3 ○パネリスト イカガ ショウグループ ワーク ●最終検討会 ◆提言書 の提出 ◆区長会 要望書提出	<p>○地域集会所LED化補助事業</p> <p>○自治会未来支援事業 @100千×3団体×3年(モデル事業)</p> <p>○地域事務局(仮称)による区や自治会の支援事業 調査研究・調整</p> <p>○自治組織デジタル支援システム導入 調査研究・調整・モデル事業</p> <p>②自治会フォーラム ◆市民参加により全市民的議論へ ○参加者によるグループワーク等</p> <p>○自治組織支援検討体制による伴走支援 ○庁内連携チーム ○現場連携会議 ○テーマ別分科会 ※これまでの知見を活かしモデル事業や自治組織の見直しなどを伴走支援する。</p>																		

※図中、会議の頻度、時期については目安です。進行状況により変更することがあります。

② 自治組織が地域の課題を自ら解決するよう地域力を高める側面支援

- 協働のまちづくり事業による地域活性化事業の支援(1-3-1参照)
- 職員地区担当制による地域課題の解決への取組み 担当職員が地域の課題解決を支援

③ 自治組織未加入者の加入促進

継続

自治組織加入促進チラシ作成と市民課窓口で転入者への働きかけ(平成29年～強化)

④ 区事務費交付金(社協交付金160千円充当)

拡充

【予算額 13,207千円】

○自治会の役割の重要性が高まる中、日常的な運営を安定的に支える基盤的支援として区事務費交付金を拡充する。

⑤ 市民活動総合保障制度

継続

【予算額 1,500千円】

○地域活動に安心して取り組める環境を確保するため、市が保険料を負担する。

⑥ 集会施設等LED化補助事業

新規

【予算額 20,000千円】

○集会施設等の照明を、2027年に製造中止となる蛍光灯からLED化する事業について、自治会の不可避な負担増を抑制する観点から、経費の3分の2を補助する。

1 人権が尊重される社会の実現

R8.2 総務課
社会教育課

めざす姿

多様性を認め合い、差別や偏見がなく、市民一人ひとりの人権が真に尊重されている。

8年度の ポイント

- ① パートナーシップ宣誓制度を利用するカップルを増やしていきます。
- ② 各世代における人権尊重に関する啓発・教育を推進します。

① 多様性が尊重される社会の実現 **継続** 【予算額 5千円】

・ パートナーシップ宣誓制度

パートナーシップ宣誓制度とは、二人が互いを人生のパートナーとして認め合い、共同生活を約束した関係であることを市に対して宣誓し、市が宣誓書を受領したことを公的に証明するパートナーシップ宣誓制度です。

この制度は、法的な効力（婚姻や相続、税金の控除等）を生じさせるものではありませんが、お二人の思いを尊重し、市として応援するものです。



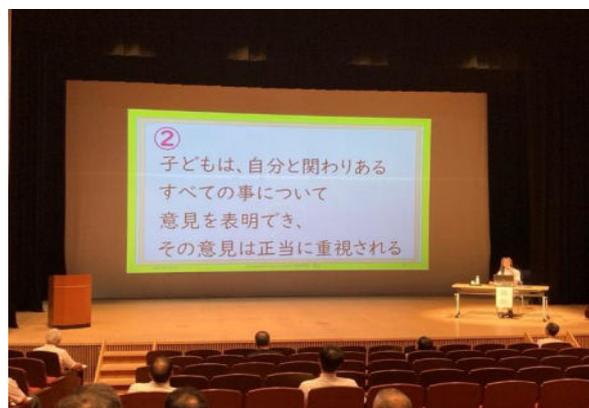
駒ヶ根市第2号の宣誓書受領証

② 人権尊重に関する啓発推進 **継続** 【予算額 126千円】

- ・ 人権相談にあたり関係機関と連携します。
 - ・ 人権擁護委員（法務大臣委嘱） 6人
 - ・ 市内にて特設相談所開設 年間5回

③ 人権教育の推進 **継続** 【予算額 103千円（再掲）】

- ・ 人権教育推進協議会の運営等
- ・ 協議会による講演会等の実施



人権教育推進協議会研修会の様子

2 男女共同参画社会づくりの推進 R8.2
総務課

めざす姿 性別にかかわらず、男性も女性もお互いを尊重し合いながら、固定観念にとらわれない自由な発想であらゆる場面で活躍し、全てを主体的に選択でき、自分らしく生き活きと生活している。

	推移					目標	
	R3	R4	R5	R6	R7	→	R8
男女が等しく参加活躍できる社会環境である(満足度調査)	3.19p		3.15p		3.30p	→	3.33p
審議会などにおける女性委員の登用人数の割合	29.7%	29.9%	31.7%	32.7%	32.4%	→	40.0%

8年度のポイント

- ① 男女共同参画計画「あなたと私のいきいきプランパート6」の推進
- ② 女性の活躍を推進し、男女がともに活躍できる社会を目指します。
- ③ 次期男女共同参画計画「あなたと私のいきいきプランパート7」の策定

① 男女が共に活躍できる社会をめざすための事業 継続 【予算額 1,620千円】

- ・**男女がともに輝き活躍できる地域づくりに向けて各種事業に取り組めます。**
 人権の尊重や、誰もが活躍できるための社会づくりについて理解を深めるため、参加型のセミナーや講演会を開催するとともに、市報に定期的に記事を掲載し意識の醸成を進めます。
- ・**男女共同参画推進講座「あなたと私のいきいき講座」を開催します。**
 男女共同参画計画の推進のため、意識啓発事業として開催します。男女がそれぞれの人権を尊重し、個性や能力を発揮し、責任を分かち合いながら自分らしく生きることができる男女共同参画社会の実現を目指し、市民にとってより身近で、具体的なテーマについての講座を開催します。
- ・**ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を推進、女性の再就職や能力発揮に対する支援をします。**
 仕事と子育てや介護等を両立できる環境を整備するため、ワークライフバランスの取り組みを少子化対策と合わせて推進します。
 結婚・出産・育児・介護等で仕事を一時中断し、その後再就職を希望する女性に対し、必要な情報提供を図ると共に、講座やセミナーなどの開催により支援します。
- ・**各種団体の活動支援。**
 地域での男女共同参画社会づくりを推進するため、女性団体連絡会の活動を支援します。

あなたと私のいきいき講座



(洗濯基礎講座)



(キャリア形成講座)

3 国際交流と多文化共生の推進

R8.2
企画振興課

めざす姿 国籍を超えた市民が相互に認め合い、あらゆる多様性を尊重しながら、誰もが地域社会の一員として活躍している。

外国人にやさしいまちづくりが行われている(満足度調査)	推移								目標
	H23	H25	H27	H29	R1	R3	R5	R7	R8
	3.00p	2.95	2.92	2.94	2.92	3.09	3.02	3.11	3.30p

駒ヶ根市の外国籍住民(令和7年12月1日現在・人)

外国人登録人数	ベトナム	中国	インドネシア	フィリピン	ブラジル	韓国	タイ	ペルー	米国	その他	計
	232	175	175	111	78	35	25	20	12	75	938

外国人登録者数の推移(いずれも12月1日現在・人)

年度	H19	H20	H21	...	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
人数	1042	1009	836	...	534	541	592	602	661	637	654	705	792	857	938

8年度のポイント

外国籍市民のニーズに合った情報提供及び多文化共生の推進

① 多文化共生の推進

○ 外国人インフォメーションサービス

拡充 【予算額 788千円】

- ・外国語窓口
- ・各種文書の翻訳及び通訳
- ・外国人向けやさしい日本語メールの配信
- ・公共施設屋内案内看板英語表記



災害時外国人支援サポート一巻成講座

○ 日本語教室支援事業

継続 【予算額 190千円】

日本語学習を通じたコミュニティづくりをボランティア団体「地球人ネットワークinこまがね」の皆さんと進めます。

場所 ふれあいセンター
日時 毎週火・水・土曜日(予定)

日本語教室参加者数(延べ人数・人)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7見込	目標
	400	469	613	790	810	713	641	545	569	689	560	810

○ 地域おこし協力隊活用事業

新規 【予算額 5,500千円】

外国人労働者などの国の制度改正による外国籍市民の増加を見据えて、企業や市民団体などとも連携して地域との交流を図っていきます。

② 国際交流事業

○ 国際交流事業促進補助

拡充 【予算額(計) 7,079千円】

- ・駒ヶ根協力隊を育てる会が実施する国際交流イベント(みなこいワールドフェスタ)事業を支援します。(予算額 600千円)
- ・国際協力友好都市締結25周年記念事業としてポカラ市(ネパール)へ市民代表団派遣を実施します。(予算額 3,479千円)
- ・ネパール交流市民の会が実施する母子保健プロジェクトを支援します。(予算額 3,000千円)

○ 駒ヶ根大使村プロジェクト・駒ヶ根国際フォーラム

拡充 【予算額 1,200千円】

開発途上国の大使の招聘や、外務省・JICAが進める国際協力から地域づくりを学びます。

○ JICA海外協力隊第2のふるさと創生事業

継続 【予算額 550千円】

駒ヶ根訓練所などで学んだOBが再び来駒して、地域に活力を生み出す機会を創出します。